

方式など新たな取組みも進められています。

④常呂自治区 1戸当りの平均経営耕作面積は28.2haと北見市では大規模経営で、代表的な土地利用型経営が特徴です。

作物では、畑作三品の作付割合が高く、ごぼう・にんにく・長いもの生産比率が高いことも特徴で、ホタテ貝殻を土地改良資材や肥料への転換利用をいち早く実施しています。

* 平成25年現在 JAとこととJAきたみらいは合併していません。

● 農産物

■ たまねぎ

日本一の玉ねぎ収穫量を誇る北見市 (平成24年度農林水産統計公表資料)

| | | | |
|-----|------|----------|-----------------------|
| 全国 | 作付面積 | 24,900ha | |
| 北海道 | 作付面積 | 13,300ha | 全国比/約53,4% |
| 北見市 | 作付面積 | 3,540ha | 全国比/約14,2% 道内比/約26,6% |

| | | | |
|-----|-----|------------|-----------------------------------|
| 全国 | 収穫量 | 1,098,000t | 10a当り/4,410kg |
| 北海道 | 収穫量 | 665,000t | 全国比/約60,5% 10a当り/5,000kg |
| 北見市 | 収穫量 | 166,800t | 全国比/約15,2% 道内比/約25% 10a当り/4,720kg |

| | | | |
|-----|-----|----------|--------------------------|
| 佐賀県 | 収穫量 | 122,800t | 全国比/約11,2% 10a当り/5,060kg |
| 兵庫県 | 収穫量 | 87,500t | 全国比/約8% 10a当り/4,340kg |

* 平成25年11月時では、JAきたみらいHPの作付面積4,376ha/取扱量230,000tは地球2周分です。

* JAきたみらいは、訓子府・置戸町を含めた取扱量で全道の約50%を取扱っています。



北見市の玉ねぎ品種 (JAきたみらいHPより引用)

黄たまねぎ

極早生種はみずみずしく、辛味がすくない。中晩生種になると辛味が多くなり貯蔵性が高くなります。販売される時期によって、同じ玉ねぎでも実は品種が違い、出荷量が多い10月～11月は貯蔵性が良いお馴染みの品種「北もみじ」が全国に出荷されています。

| | |
|------|-------------------------|
| 極早生種 | 北早生3号 |
| 早生種 | 北はやて2号 オオーツク1号、オオーツク22号 |
| 中晩成種 | 北もみじ2000、スーパー北もみじ |



スーパー北もみじ

JAきたみらい玉ねぎの約6割強を占める品種。

少し辛味があるが、貯蔵性に優れカレーや炒め物の調理に向く品種。